

【中学生議会 教育長答弁様式1】

質 問 区 分	教育グループ	議 員 名	山口愛花里 議員 谷川弘樹 議員 古市恭介 議員 酒井並木 議員 瀧澤 文 議員
発言順(通し番号)	NO : 16~20	所 管 部	教育部

質 問 事 項	教育グループ
具体的な内容内容 (質問取り内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1 文化を振興し魅力的なまちづくりを 2 図書館利用について 3 生徒への学習支援と地域学習の取り組みについて 4 学校給食の食べ残しを減らす取り組みについて 5 部活動の延長として行われていた社会体育について

文化振興について：山口議員

【教育長答弁】

山口議員のご質問にお答えします。

文化芸術は私たちに喜びや感動、心の安らぎをもたらし、人生にうるおいを与えてくれるものです。また、豊かな感性や人間性を育みます。

山口議員が、文化振興に取り組むことで「市は、安曇野らしさがあふれた、魅力的な町になり、まちの活性化にもつながる」と考えておられ、私もそのとおりだと思います。

安曇野市も「文化のかおるまち」を築くことを目標に計画を立て、文化振興の事業を行っています。安曇野市の文化を発信したり、活性化につなげたりするためには、行政だけでは推進ができず、一人でも多くの市民の協力が必要なのです。

そのきっかけとして、市では市民が文化に興味を持ってもらうためいろいろな事業を行っています。学校関係では、美術館・博物館の中学生以下の入館料無料化や、昔の暮らし体験教室などの出前講座を行っています。今年は、昨年の中学生議会の意見を受けて、美術館・博物館の年間行事ガイドを作成して、全児童生徒に配布しました。

また、27年度から市内在住の70歳以上の高齢者の入館料無料化も行っています。美術館・博物館などの文化施設は、多くの市民が世代を越えて交流できる場です。大いに活用していただきたいと思います

若い皆さんが安曇野市の文化に興味を抱くことは、安曇野市が将来に亘って「安曇野らしさ」を失わず、まちづくり、人づくりに繋がることでしょう。想いを込めたご意見をいただき、ありがとうございました。

図書館利用について：谷川議員

【教育長答弁】

続きまして谷川議員の質問にお答えします。

図書館の貸出冊数は、平成21年度に中央図書館、平成22年度に豊科図書館が開館してから、開館前の貸出数が34万9千冊余りであったものが、平成23年度には77万6千冊余りと2倍以上に増加しましたが、平成23年度からは横ばい状態にあります。

情報機器の発達も原因の一つと考えられるかもしれませんが、新しい図書館が開館して新たな利用者が増え、こ

れが一段落したものと思われます。

図書館では、毎月図書館だよりを発行して、貸出しランキング、イベントの紹介、お勧めの本などを紹介しております。小中学校にもお届けしていますので、ご覧になったことがあると思います。

また、「広報あづみの」や図書館のホームページの図書館ダイアリーで図書館の展示コーナーの紹介やイベント情報を発信しています。

図書館は元気な高齢者や子供さんが楽しく使っていただく交流施設として、その魅力や図書館に係る情報を市民の方に知っていただくことが大切です。

明科の「ひまわり」の活用についてのご提案をいただきましたが、安曇野市には「みらい」「きぼう」といった施設もございますし、これから三郷・堀金地域にも図書館を中心とした交流学習施設の整備も進めておりますので、地域の交流の場として生かしていきたいと思ひます。

これらの図書館を中心とした複合施設を大いに活用して、今年も実施した図書館フェスタのように、大人から子どもまで、世代を超えた方々が集えるような取り組みを今まで以上に実施してまいります。

図書館の中だけではなく、積極的に外への情報発信を行うことによって、大勢の方に図書館に関心を持っていただけるよう取り組むとともに、学校を含めた図書館ネットワークづくりをすすめてまいりますので、ぜひ皆さんも図書館を利用していただきたいと思ひます。

学校教育について：古市議員

【教育長答弁】

続いて 古市議員の質問にお答えします。

安曇野市の小中学生には、学力をしっかりと身につけると同時に、郷土に誇りと愛着を持って欲しいと私も強く願っています。そして、「地域の学習に積極的に取り組み、安曇野の良さを自ら伝えていきたい」という古市議員のお考えは積極的な学びの姿として、大変頼もしくうれしく思います。

市では、平成 23 年度から、小学生の授業を補う学習指導をボランティアの方にお願ひし、「放課後学習室」を、中学生に対しては、平成 25 年度から、ALT による英会話を中心とした「英語課外授業」を実施しています。

この二つの事業については、自主参加ですが、より多くの人に参加していただけるよう、内容や方法の工夫をしていきたいと考えています。

また、中学 2 年生を対象に海外ホームステイ交流派遣事業を行っています。この事業における海外での体験に加え、事前学習において安曇野の良さについて学んだことをもとに、現地の子どもたちに安曇野を紹介する授業を生徒が行うことにより、安曇野の良さについて深く見つめ直す機会にもなっています

市では、学校と地域の関係をより強化し、地域の方が学校の運営等に関わったり、地域学習に関しての支援をしていただいたりするスクールサポート事業を実施し、地域の方との関わり、地域を学ぶ機会の充実を一層図っています。

この取り組みを通し、長野県教育委員会が推進する、信州型コミュニティースクールの構築を図っていきたいと考えています。

学校給食について：酒井議員

【教育長答弁】

続きまして酒井議員の質問にお答えします。

安曇野市教育委員会では、平成 20 年に学校給食理念を制定しました。ここには、学校給食の目標 6 項目が示されています。①安心・安全でおいしい給食づくり、②食育の推進、③地産地消の推進、④手作り給食の実施、⑤季節感のある地域の伝統食の提供、⑥栄養バランスの取れた給食の提供、です。

学校給食は様々な献立や食材との出会いの場でもあります。「こんな食べ方もあるんだ」といった発見ができますし嗜好の幅も広がります。

時間と量のバランスについてですが、限られた学校の給食時間の中で、クラスの仲間と協力し合いながら、準備や後片付けを、手際よくできるようになることも大切です。

量においては、成長期の小中学生が一日に摂取する基準に合わせて献立を作り、量を決めています。体格には個人差はあると思いますが、できればあわてずに味わって食べていただきたいと思います。

給食の残りですが、日々食缶が返却されたときに、各センターの栄養士が残食の確認を行い記録を残すとともに、後日の献立の参考にしています。

また、農産物を作ってくれた人、調理をしてくれた人もおいしく食べていただけることを望んでいます、このような方に思いを馳せながら給食を楽しんでください。

社会体育について：瀧澤議員

【教育長答弁】

続きまして瀧澤議員の質問にお答えします。

長野県教育委員会は平成26年2月、心身の成長過程にある中学生期にとってのスポーツ活動が、適切で効果的な活動となることを目指して、「長野県中学生期のスポーツ活動指針」を策定し、指導の改善工夫及び運営体制の整備等の考え方を示しました。

市でも、教育委員会・校長会・中学校体育連盟の三者が連携し検討をする中で、他市町村の対応を調査したり、当事者である中学生やその保護者の皆さんにもアンケートを通して声を寄せていただいたりして、その思いや願いを確認してまいりました。

これらの分析及び検討をふまえ、平成26年度末に部活動実施に関わる「安曇野市立中学校の部活動方針」を策定しました。

この中で、部活動の延長として行われていた社会体育や社会文化部については、部活動に一本化することとして、平成27年度からの部活動が新たに歩みだしていることはご承知の通りです。

一本化することに伴う、部活動の時間確保については、各校で時間確保に努めていただいているところです。

大会参加については、主催者・共催者・期日・会場、参加の意義等から学校長が部活動として参加することが可能と判断すれば参加することができます。

また、保護者の皆さんの部活動への関わり方につきましては、お手伝いについて規制する内容ではありません。また、学校外部の方に部活動を指導していただくことも学校長の許可を得て可能です。

この方針を受けて各校が部活動を実施する中での成果や課題については、年度末にかけて、各校で開かれる検討委員会や部活動運営委員会で話し合われます。ここで出された各校の意見を集約し、本年度の部活動運営の課題を掴み検討し対応してまいりたいと思っています。